

第 3 次印西市ごみ減量計画の施策について

アクション 1 ごみの発生抑制

事業名		令和 3 年度実施結果	今後の予定（令和 4 年度に実施したものを含む）
1-1 食品ロスの削減	①食品ロスの啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙掲載（3回） ・市ホームページ、Twitter、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の通知機能等での啓発。 ・ごみ減量化等説明会の開催（5申込7回開催、222名参加） ・商工会を通じて事業者宛に食品ロスについてのリーフレットを配布（780事業者） ・ごみ減量啓発映像（食品ロス）を作成。3月公開。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して啓発活動に取り組んでいく。
	②フードドライブ事業への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ、Twitter、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の通知機能等により周知（フードバンクちばが実施するフードドライブについて） ・令和 3 年度ごみ減量啓発映像において、フードドライブ活動のロケーション撮影を実施し、市ホームページで公開して啓発した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年 6 月 4 日実施のいんざい環境フェスタで、印西市社会福祉協議会ブースにフードドライブの窓口を設置した。 ・継続して協力活動を行っていく。
	③（仮）食品ロス削減協力店登録制度の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減協力店登録制度を開始（令和 4 年 3 月 1 日） ・年度末時点で 2 店舗登録。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年 7 月時点で 4 店舗登録。 ・商工会を通じて事業者宛に本制度のリーフレットを配布（7月25日、780事業者） ・今後も食品ロス削減協力店登録数を増やすことで、市民・事業者・市が一体となって推進していく。
1-2 生ごみの減量	①生ごみの水切りの啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙掲載（4回） ・市ホームページ、Twitter、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の通知機能等での啓発。 ・ごみ減量化等説明会の開催（5申込7回開催、222名参加） ・出前講座 2 回・おさがりマルシェで生ごみしぼり器を配布（約100個） 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年 6 月 4 日実施のいんざい環境フェスタで、生ごみしぼり器を配布（約 250 個） ・ごみ減量化等説明会は令和 4 年 7 月時点で 2 回開催、34名参加 ・継続して啓発活動に取り組んでいく。
	②生ごみ処理容器等購入補助制度の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・補助実績：処理機92世帯（92基）、処理容器25世帯（38基） ・利用者アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施。
1-3 剪定枝の減量	①剪定枝粉碎機貸出の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・電気式剪定枝粉碎機の貸出（14件）、エンジン式剪定枝粉碎機の貸出（15件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施。
	②（仮）剪定枝粉碎機購入補助制度の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の実施状況等を情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝粉碎機の貸出状況や費用対効果を踏まえ、剪定枝の資源化についても合わせて検討していく。

事業名		令和3年度実施結果	今後の予定（令和4年度に実施したものを含む）
1-4 事業系ごみの減量	①減量計画書の活用（訪問、指導）	<ul style="list-style-type: none"> 多量排出事業者（対象91事業者）から事業系一般廃棄物減量化計画書の提出を受けた。 多量排出事業者にパンフレットを送付し、啓発した。 効率的な訪問指導の実施方法を松戸市から情報収集した。 	<ul style="list-style-type: none"> 多量排出事業者への訪問指導を実施し、有効な減量方法等を分析して他の事業者に周知していく。
	②（仮）ごみ減量事業所の登録制度の検討	<ul style="list-style-type: none"> 他自治体の実施状況等を情報収集（柏市・我孫子市）した。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業系廃棄物の現状等を踏まえ、対象となる事業所や登録条件等を検討する。
	③事業系食品廃棄物の削減の促進	<ul style="list-style-type: none"> 事業者宛に食品ロスについてのリーフレットを配布（780事業者）し、啓発した。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者への周知や多量排出事業者への訪問指導を実施していく。
1-5 ごみ処理手数料	①ごみの有料化の検討	<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議（印西市、白井市、栄町及び印西クリーンセンター）において検討を実施した。 <p>【各市町の状況】</p> <p>印西市：有料化未実施。</p> <p>白井市：粗大ごみのみ有料化実施済。白井市廃棄物減量等推進審議会から有料化を導入すべきとの答申を受けている。</p> <p>栄町：有料化実施済。収集運搬を自前で行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理一元化の観点から、各市町共通での有料化が望ましいが、各市町で状況が異なっており、有料化の方法について引き続き検討していく。
	②事業系ごみ処理手数料の適正化の検討	<ul style="list-style-type: none"> 印西クリーンセンターで事業系ごみと課している手数料は 270 円/10kg（令和元年10月改定後） 	<ul style="list-style-type: none"> 印西クリーンセンターと協議を行っていく。

アクション2 ごみの分別・リユース・リサイクル

事業名		令和3年度実施結果	今後の予定（令和4年度に実施したものを含む）
2-1 資源の分別	①資源の分別の徹底（意識啓発）	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙掲載（9回） 市ホームページ、Twitter、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の通知機能等での啓発。 ごみ減量化等説明会の開催（5申込7回開催、222名参加） ごみ減量化啓発映像（資源物の分別）を市ホームページに公開し、啓発した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して啓発活動に取り組んでいく。 資源物の燃やすごみの混入については、組成分析結果から引き続き周知を行う。 ごみ減量化等説明会は令和4年7月時点で2回開催、34名参加
	②ごみ減量化等説明会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月に市内全ての町内会や自治会に対して、説明会の案内文を送付。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して実施。
2-2 資源回収	①有価物集団回収奨励金交付事業の継続	<ul style="list-style-type: none"> 回収量1,442,170kg、交付団体数97団体。 コロナ禍の影響による自粛や子ども会の会員数減少による団体廃止もあり、減少傾向。 町内会等に啓發文書を送付（53団体） 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して実施。
	②資源物店頭回収店の活用	<ul style="list-style-type: none"> 店頭回収店の一覧を市ホームページにて公開（13店舗） 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も情報収集に努め、一覧を更新していく。

事業名		令和3年度実施結果	今後の予定（令和4年度に実施したものを含む）
	③資源物として新たに回収できる品目についての検討	<ul style="list-style-type: none"> ・製品プラスチックの資源化について、中間処理事業者から情報を収集。 ・剪定枝の資源化について、コンテナ回収を実施している栄町を視察。 	<ul style="list-style-type: none"> ・印西クリーンセンターと共に今後も継続して情報収集を行い、資源化に向けて検討。
2-3 リユース	①リユース事業の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども服リユース事業「おさがりマルシェ」を、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施（7/25、事前申込制・4部入替制） 当日来場者70人（申込94人、抽選による当選者80人） 配布1,190点、153.1kg 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども服リユース事業「おさがりマルシェ」を、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施（5/15、事前申込制・4部入替制） 当日来場者74人（申込114人、抽選による当選者80人） 配布1,709点、220.6kg ・今後も継続実施し、また情勢を見ながら実施方法の検討も継続する。
	②粗大ごみの再使用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・品物を譲りたい人、探している人をマッチングさせる「リサイクル情報広場」を実施（申請42件、成立21件） ・印西クリーンセンターで粗大ごみの再生品を販売。市ホームページでも周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル情報広場は継続して実施。（令和4年度は申請8件、成立1件（7/22現在）） ・粗大ごみの再生品販売について、市広報紙で周知を行う。その他周知方法も検討する。

アクション3 情報発信・教育

事業名		令和3年度実施結果	今後の予定（令和4年度に実施したものを含む）
3-1 情報発信	①広報紙、ホームページ等による提供	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙掲載（「ごみの分別大事典」シリーズとして毎月15日号） ・市ホームページ、Twitter、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の通知機能等での情報提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して啓発活動に取り組んでいく。
	②ごみ減量映像による視覚的広報	<ul style="list-style-type: none"> ・年1本程度、ごみの減量に関する映像を作成し、市ホームページ等で公開（令和3年度は食品ロスについて作成し、市ホームページで公開。 ・「環境フェスタオンライン」で、参加団体及び市が作成した映像を市ホームページ（YouTube）で配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量に関する映像の作成については、継続して実施。
	③廃棄物減量等推進員制度の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンアドバイザーは、専門的知識をもって、説明会の講師等の活動を行う（9名） ・クリーンパートナーは、それぞれの地域でのごみ分別の啓発等の活動を行う（118名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施。（令和4年度はクリーンアドバイザー9名、クリーンパートナー101名（7/22現在））
3-2 環境教育	①ごみ処理施設や資源化施設等見学による学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大のため令和3年度は未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度7月にクリーンパートナー及び親子向けのごみ処理・リサイクル施設見学会を実施。（クリーンパートナー向け14名参加・親子向け9組22名参加） ・市民向けのごみ処理・リサイクル施設見学会を下半期に実施予定

事業名		令和3年度実施結果	今後の予定（令和4年度に実施したものを含む）
	②児童・生徒向けの学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校に向け、クリーンアドバイザーを講師としたごみの分別についての説明会を実施（1校6クラス、181人参加） ・小学4年生にごみ分別意識の向上を図るとともに、分別ルールの理解を目的とし、自由帳を配布（1,249冊） ・令和4年3月に市内全ての小中学校に対して、説明会の案内文を送付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施。 ・令和4年4月に小学4年生にごみ分別意識の向上を図るとともに、分別ルールの理解を目的とし、自由帳、下敷きを配布（1,234冊）
	③環境啓発イベント等による学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、オンラインで実施 <p>市ホームページに特設コーナーを作成し、参加団体からのメッセージを掲載するとともに、市公式YouTubeチャンネルに参加団体の作成した映像を配信。（6/1～6/30）</p> <p>参加団体数 9団体（動画点数10点）</p> <p>総再生件数 1,390回、HP閲覧件数1,177回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6/4 新型コロナウイルス感染症対策（出入口2箇所に検温・手指消毒員を配置）を講じたうえで開催。 <p>場所 イオン千葉ニュータウン コスモス広場</p> <p>参加団体数 13団体</p> <p>来場者数 935人（スタンプラリー配布数より）</p> <p>新規参加 印西市社会福祉協議会</p>